

凍結による破損の予防及び長期間使わないときの処置

凍結が予想される時 アドバイス 1

周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ内をあたためるか、できないときは水抜きを行ってください。凍結のおそれがある場合は、次の手順に従って予防してください。製品が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因になります。
※便器の種類によって、凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

🔧 便器の種類は43ページ

ご注意ください!

凍結予防の作業前には、**オート** **流す** **おしり入/切** を「切」にして、便座・便ふたを閉めた状態にしてください。

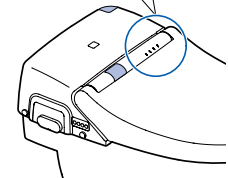
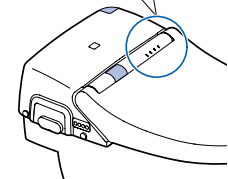
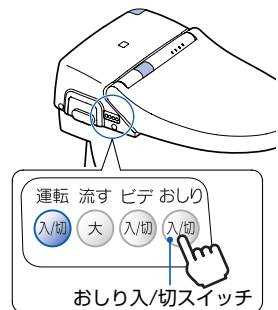
凍結予防のしかた（流動方式）

●便器とウォシュレットの水を一定の間隔で自動で流して凍結を予防する方法です。

本体操作部の おしり入/切 を 10秒以上押す

凍結の予防を開始します。

- 本体表示部の「運転」ランプが点灯から点滅に変わります。
- ノズルが収納したままで温水が5分間隔で出ます。
- 便器の水が10分間隔で流れます。



凍結予防を確実に行うには...

- リモコンの温水・便座温度の設定をMAXに設定してください。
- 便ふたを必ず閉めてください。

凍結予防をやめるとき

本体操作部の おしり入/切 を 10秒以上押す

凍結の予防をやめます。

- 本体表示部の「運転」ランプが点滅から点灯に戻ります。

アドバイス⇒ 1 凍結が予想される時

節電はしないでください。凍結により製品が破損することがあります。

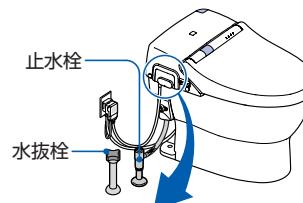
🔧 タイマー節電をやめるときは22ページ 🔧 おまかせ節電をやめるときは23ページ

凍結予防のしかた（ヒータ付便器・水抜併用方式）

水抜きのしかた

1 水抜栓を操作して、給水を止める

※止水栓は開けたままにしておいてください。



2 配管の水を抜く

- ①キャップをはずす
- ②給水フィルター付水抜栓を開閉工具でゆるめた後、引っ張ってははずす

⚠️ 注意

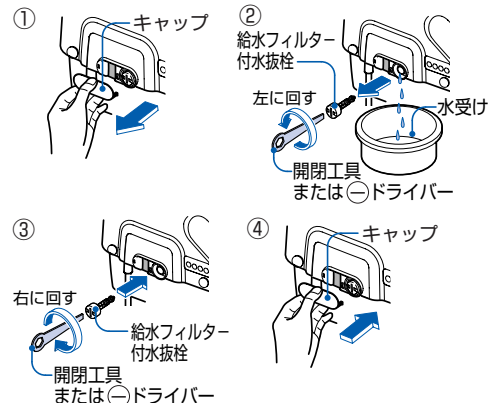
❌ 水抜栓を開けたままで、給水フィルター付水抜栓をはずさない
禁止 ●水が噴き出します。

- ③水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓を押し込み、開閉工具で確実に締める

⚠️ 注意

❗ 給水フィルター付水抜栓は確実に締める
必ず守る ●確実に締めないと水漏れの原因になります。

- ④キャップを取り付ける



リモコン裏面

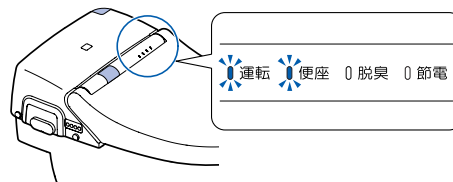


3 ノズル内の水を抜く

- ①リモコンの **ノズルそうじ** を押す
- ②水抜きが終わったら、もう一度 **ノズルそうじ** を押す（ノズルを元に戻します。）

4 ウォシュレット内を保温する

- ①本体操作部の **運転** が「入」であることを確認し、リモコンの便座温度の設定をMAXにする
- ②便ふたを閉める

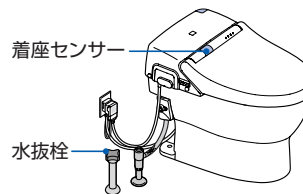


水抜き後に再通水するとき

1 水抜栓を操作して、給水する

2 ノズルから吐水させる

- 着座センサーを白紙でおおい、リモコンの **おしり** を押してノズルから2分間吐水させます。（吐水は紙コップなどで受けてください。） アドバイス 2



アドバイス⇒ 2

残水が凍結し水が出ないときは、トイレ内をあたため、お湯に浸した布で給水ホース及び止水栓をあたためてください。

長期間使わないときの処置

凍結のおそれがない場合


長期間使わないとき

電源プラグを抜く

長期間使わなかった後に、再通水するとき

1 電源プラグをコンセントに差し込む

2 ノズルから吐水させる

- 着座センサーを白紙でおおい、リモコンの  を押して、ノズルから2分間吐水させます。(吐水は紙コップなどで受けてください。)

凍結のおそれがある場合

- 長期間使わないときに凍結のおそれがある場合は、次の処置を行ってください。 **アドバイス 1**

流動方式の場合

電源プラグを抜かずに 32ページ「凍結予防のしかた（流動方式）」の操作を行う

ヒータ付便器・水抜併用方式の場合

- 次の手順で水抜きを行ってから、電源プラグを抜いてください。

1 水抜栓を操作して給水を止める

- ※止水栓は開けたままにしておいてください。

 33ページ

2 配管の水を抜く

 33ページ

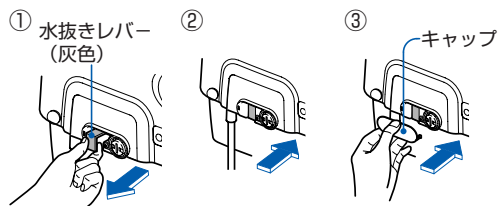
- ※水を抜いた後、キャップははずした状態にしておいてください。

3 ノズル内の水を抜く

 33ページ

4 ウォシュレット内の水を抜く

- ①水抜きレバー（灰色）を引く
- 本体下側から水（40ml程度）が便器内に出ます。水が完全に抜けるまで、約10秒かかります。
- ②手を離し、水抜きレバーを元に戻す
- ③キャップを取り付ける



5 電源プラグを抜く

6 便器の溜水を処置する

アドバイス 2

アドバイス 1

- 冬季に帰省されるとき
 - 別荘などで使用されるとき
- 水抜きをしましょう！冬季の留守のときは冷え込みが厳しくなります。凍結予防のために、必ず水抜きをしてください。

アドバイス 2

便器に残る溜水には、不凍液を入れておくとより安心できます。

故障かな?!と思ったら

故障かな?!と思ったらまずこの章をご覧ください。処置方法をためしてみてください。それでも直らないときは、お取引店、販売店または東陶メンテナンス（株）にご相談ください。

連絡先 東陶メンテナンス（株）

 0120-1010-05

受付（年中無休）

受付時間：関東・甲信越地区 8:00~20:00

上記以外の地区 9:00~20:00

訪問修理（年中無休）

営業時間： 9:00~18:00

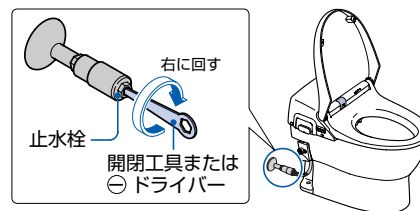
修理を依頼するときは、電源プラグは必ず抜いておいてください。

注意






必ず守る

水漏れが発生したときは、
止水栓を閉めて給水を止める






■修理を依頼される前に次のことを確認してください。

全機能

現象	確認（原因）	処置
全く動かない	停電したりブレーカーが切れていませんか。	停電が復帰するまでお待ちください。また、ブレーカーを「入」にしてください。
	電源プラグの「切表示」ランプが点灯していませんか。	「入（リセット）」ボタンを押してください。  29ページ
	本体表示部の全てのランプが消灯していませんか。	本体操作部の  を押してください。  13ページ

おしり洗浄・ビデ洗浄

現象	確認（原因）	処置
洗浄水が出ない	断水していませんか。	 を押し、断水が解除するまでお待ちください。
	止水栓（2カ所）が閉まっていませんか。	止水栓（2カ所）を全開にしてください。  13ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。  39ページ